

ルール変更点(11人制)

※ 規則変更の趣旨 序文 P5~9

① 「ヒット」の技術の解釈 用語説明	P15
② 人数が多かった時のカードの使用(Gカードは出さなくてもよい)	P17 2.1 注釈
③ PC、PS時のフェイスマスク金網製のものも許可と防具使用に伴う制限	P24 4.2 注釈
④ 引き分けの場合のSO戦について(PS戦廃止)	P28 5.2 注釈
⑤ コーナーの再開位置変更(23mライン上にボールを置いて再開)	P32 7.4 b
⑥ 得点となる条件(オウンゴールの表現が削除・変更)	P32 8.1
⑦ ハイステック規則の廃止	P34 9.7
⑧ 身体を使ってボールをプレイする「自発的に手、足、身体を使ってボールをプレイして」 削除	P36 9.11 注釈
⑨ 無謀なタックル 注釈追加	P38 9.13 注釈
⑩ アドバンテージ 注釈削除	P43 12.2 削除
⑪ PSとなる要件 守備側の度重なるフライング 削除	P45 12.4 c 削除
⑫ 罰則 10m前進規則 削除	P45 12.5 削除
⑬ サークル外5m以内のFHポイントも、反則のあった場所から行う	P46 13.1 b 削除
⑭ スラップヒットの注釈 削除	P51 13.3 k 注釈 削除
⑮ PC時のフェイント・フライングに対する罰則	P53~57
⑯ PS時の守備側が足を動かした時Gカードは「提示してもよい」表現変更	P60 13.10 d
⑰ グリーンカードは、2分間退場 その他カードの使用による注釈追加	P61 14.1 b c d
⑱ アンバイアシングナル 10m前進シグナル 削除	P76 4.6 c 削除
⑲ フィールド外側スペースの幅 変更 P79 注釈 メートル表示に変更の文章削除	P77 1.1 注釈
⑳ 新スティック仕様 適用2015.1.1 長さ制限105cmを越えない	P87 注釈 P93 2.18

ルール変更点(6人制)

① 「ヒット」の技術の解釈 用語説明	P103
② ラインの書き方 表現変更 破線をなくす	P105 1.2 1.3 c及びd 1.4
③ 人数が多かった時のカードの使用(Gカードは出さなくてもよい)	P109 2.1 注釈
④ PC、PS時のフェイスマスク金網製のものも許可と防具使用に伴う制限	P114 4.2 注釈
⑤ 判定の変更 注釈追加	P117 5.1 注釈追加
⑥ 引き分けの場合のSO戦について(PS戦廃止) センターラインセンターパスは、自陣エリアとする。	P118 5.2 注釈 P119 6.4 e
⑦ サイドラインからのヒットインはすべてボールが出た場所から行う	P121 7.3
⑧ コーナーの再開位置変更(バックラインから12mの位置 サークル外にボールを置いて再開)	P121 7.4 b
⑨ 得点となる条件(オウンゴールの表現が削除・変更)	P122 8.1
⑩ ハイステック規則の廃止	P124 9.7
⑪ 身体を使ってグリーンボールをプレイする「自発的に手、足、身体を使ってボールをプレイして」 削除	P126 9.11 注釈
⑫ 無謀なタックル 注釈追加	P127 9.13 注釈
⑬ アドバンテージ 注釈削除	P132 12.2 削除
⑭ PSとなる要件 守備側の度重なるフライング 削除	P133 12.4 c 削除
⑮ 罰則 8m前進規則 削除	P133 12.5 削除
⑯ サークル外4m以内のFHポイントも、反則のあった場所から行う	P134 13.1 b 削除
⑰ スラップヒットの注釈 削除	P139 13.3 k 注釈 削除
⑱ PC時のフェイント・フライングに対する罰則	P141~145
⑲ PS時の守備側が足を動かした時Gカードは「提示してもよい」表現変更 変更位置を示す横線 間違い	P148 13.10 d
⑳ アンバイアシングナル 8m前進シグナル 削除 SO戦(6人制)規定	P163 4.6 c 削除 P164~167

規則の適用 …………… 確認事項

- ① 守備側がバックラインに向けてボールを故意にプレイ下場合、PCを躊躇なくとること
- ② オブストラクション、特にシールドイング(スティックで隠すこと)を厳密に罰する
- ③ FHでのボールの静止を厳しく管理すること

27年度のレギュレーション 確認

※ 別添のレギュレーション一覧表と合わせて確認のこと

- ① グリーンカード 2分退場させる。 中学生以下の11人制及び6人制は適用しない。
競技時間が止まればその時間は延長、GKの場合は…GKが退場する。
 - ② イエローカードは、5分か10分を明示する。ジャッジテーブルが再入場を指示する。
中学生以下の11人制 6人制は適用しない。
 - ③ 勝敗を決する場合は、PS戦でなくSO戦とする。… 全ての大会で実施。
すべての大会で、延長戦は実施しない。 ※ SO規程を確認すること
 - ④ サジェスションアンパイアを置き、チャレンジ権1回を与える。適用大会を確認のこと。
 - ⑤ チャレンジ、PCやPS、得点に関する抗議があった時の選手変更は禁止する。
 - ⑥ 規則5.1の注釈文章に規定している、試合終了前後の判定の確認や変更については、国内の大会では適用しないこととする。
 - ⑦ 5m(4m)以内にいた守備側選手が、ボールが5m(4m)以上動いたときにプレイ可能となる。
ボール移動時に5m(4m)外に離れようとする意思を示し、なおかつプレイに一切かかわる行為をしてはならない。
 - ⑧ ハイスティックの規則廃止は、スポ少・中学生の大会には適用しない。(従前通りとする)
 - ⑨ シュートクロック(40秒)は、6人制、中学生以下の大会は適用しない。
- ※ その他、主要国際大会前後でFIHからの通達により、規則並びにレギュレーション変更が生じた場合は、審判部で検討し、年度途中であっても通達し、国内適用を実施する場合もありうる。